

かごしま連携中枢都市圏ビジョン(素案)に係るパブリックコメント手続の実施結果について

1. 意見の募集期間 平成28年12月21日(水)～平成29年1月25日(水) (36日間)

2. 意見の提出者数(件数) 11人(23件)

3. 意見の対応状況 (単位:件)

項目 対応区分	(1) 各分野の施策に関する 意見	(2) ビジョン全般に関する 意見	(3) その他	計
A 意見の趣旨等を反映し、 ビジョン(案)に盛り込むもの	0	1	0	1
B 意見の趣旨等は、ビジョ ン(素案)に盛り込み済みの もの	1	2	1	4
C ビジョン(案)には盛り込 まないもの	0	1	0	1
D 具体的な事業の実施に あたり参考とするもの	7	3	2	12
E その他要望・意見等	2	0	3	5
計	10	7	6	23

パブリックコメント手続で提出された「意見の対応状況」について（平成28年12月21日～平成29年1月25日実施）

意見等を受けた人数
11人

項目	件数
(1) 各分野の施策に関する意見	10
(2) ビジョン全般に関する意見	7
(3) その他	6
計	23

対応区分	件数
A. 意見の趣旨等を反映し、ビジョン（案）に盛り込むもの	1
B. 意見の趣旨等は、ビジョン（素案）に盛り込み済みのもの	4
C. ビジョン（案）には盛り込まないもの	1
D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	12
E. その他要望・意見等	5
計	23

○対応区分 「A. ビジョン（案）に盛り込むもの」、「B. ビジョン（素案）に盛り込み済みのもの」、「C. ビジョン（案）に盛り込まないもの」  
「D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの」「E. その他要望・意見等」

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
1	(2)	用語が分かりにくいので、用語説明をつけてもらいたい。	巻末に用語説明のページを設けます。	A
2	(1)	本圏域を構成する市から鹿児島市への通勤通学割合をみると、日置市（27.7%）、いちき串木野市（10.0%）、始良市（22.5%）となっており、これら3市と鹿児島市は経済的に緊密なつながりのある圏域を形成していますが、充実した交通網を構築していくためには、鹿児島市には市電を中心とした巡回するコンパクト化、その他の連携都市の拠点としてはJRを中心とした街づくりを中心としたコンパクト化を図る必要があると思うが、今後どのような形のコンパクト化とネットワーク化を図り、人口減少・少子高齢化社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持していくための拠点形成を図っていく予定なのか。	本ビジョンの基本方針に、圏域全体の経済成長のけん引など3つの柱を掲げており、中でも高次の都市機能の集積・強化において、高度な中心拠点の整備などを行うとともに、圏域全体の生活関連機能サービスの向上において、交通環境の整備などを行うことによって、都市機能の集約化とネットワーク化を図り、活力ある経済・社会を実現することを目指しています。	B
3	(2)	どこの都市にでも言えることですが、中心になる鹿児島市が元気でないといけません。特に天文館や中央駅に人が集まれば、周辺の都市もその恩恵を受けるのではないのでしょうか。	基本方針の2点目「高次の都市機能の集積・強化」において、広域的な都市基盤の整備を具体的な取組として掲げ、中央町19・20番街区や千日町1・4番街区における市街地再開発の支援を行っているところであり、今後も中心市街地の活性化に努めてまいります。	B
4	(2)	鹿児島市は、県内からの人口流出の防波堤として、県内各自治体から人口や労働力等の供給を受けている。地理的にも他県からの人口流入が期待できないことから、鹿児島市の人口や経済規模を維持していくためには、周辺の自治体と連携し、それぞれの特長を生かしながら、地域全体が持続可能となるシステムを考えていかないといけない。鹿児島市には是非とも中心都市として圏域全体のために、財政面をはじめ、より大きな役割を果たして欲しいと思う。	連携中枢都市圏構想においては、圏域の中心都市が近隣の市町村と連携し、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することが目的とされており、本市が、連携中枢都市としての役割を果たしてまいりたいと考えております。	B
5	(3)	子供が少なくなると、いろいろな面で困ることが多くなると思います。単に人口を増やそうとするのではなく、子供や若い人が住みやすいまちにしてください。年寄りばかりになっては、まちの雰囲気も暗くなります。福祉や医療に使うお金だけではなくて、子育てや若者のためにお金をどんどん使ってください。	子育て支援の推進や雇用機会の拡大に関する事業に取り組んでいくこととしており、子育てや若者を応援する取組に努めてまいります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
6	(2)	都市圏の形成は、鹿児島市を中心市として地域を一体的かつ持続的な発展を図るためにすることだが、いっそ合流してしまった方が実効的ではないか。合併せずにやると、意見集約や財源面の調整が大変だと思う。実効性や効率性を考えると合併した方が良いと思うが、いかがか。	国が示す要綱では、「連携中枢都市圏構想は、地方公共団体が柔軟に連携し、地域の実情に応じた行政サービスを提供するためのものであり、市町村合併を推進するものではない」とされており、本圏域においても今後の合併を進めるものではありません。	C
7	(1)	私は、この間まで東京で働いていましたが、地元である鹿児島で働きたいと昨年11月に鹿児島へ帰ってきました。現在20代で、製造業関係で働きたいと考えていますが、鹿児島の雇用事情はなかなか厳しいです。若者向けの就職バックアップが欲しいところであり、実際にハローワークにはそのようなブースがありますが、限られた職の中から探すという類で、そもそも職自体が少ないと感じます。今回のかごしま連携中枢都市圏ビジョンには、雇用機会の拡大で、企業説明会や企業誘致に関する事業を挙げられておりますが、もっと若者の雇用に特化した事業、特に若者をよく雇い受ける企業の誘致を図るというような事業を検討いただけないでしょうか。	基本方針の1点目「圏域全体の経済成長のけん引」に、「連携中枢都市圏合同企業説明会開催事業」や「企業立地推進事業」に取り組み、雇用機会の拡大に努めていくこととしていますが、ご意見については、今後の取組を検討する中で参考とさせていただきます。	D
8	(1)	連携協約に基づき推進する具体的取組として、「鹿児島市立病院の医療体制の充実を図り、安心安全な質の高い医療を提供する」となっておりますが、厚労省は治す医療から、治し支える医療へと舵をとっており、厚労省の施策のもと、県は現在、地域医療構想を進めております。高度急性期、急性期の医療だけでなく、回復期、慢性期、在宅といった各医療機関の機能分担と連携の強化が必要不可欠となってきます。すなわち、鹿児島市立病院の体制強化だけでは、将来の地域医療を支えることはできません。鹿児島市としては、圏域を越えた他市との機能分担についても具体的取組として追加すべきではないでしょうか。	圏域外の他市との連携については、今後、現在の4市による取組を進める中で、効果等を検証しながら検討してまいります。	D
9	(1)	森市長のマニフェストには、「地方創生に資する交通局跡地の再開発を支援します」と掲げられております。街づくりの未来は子育てにあり、地方創生の柱の1つと考えます。交通局跡地には、鹿児島県の急性期周産期医療を最前線で支えている今給黎総合病院の移転が決定しておりますが、同じく急性期の周産期医療を担っている鹿児島市立病院との連携が密に行われていく必要があります。鹿児島市立病院と今給黎病院との周産期医療における更なる機能の分担と連携はどのように考えているのでしょうか。	昨年11月に策定された鹿児島県地域医療構想において、それぞれの分野における中核的医療機関を中心に、機能分化及び連携を進めていく必要があるとされているところであり、両医療機関における機能分化及び連携については、今後検討してまいります。	D
10	(1)	「企業立地推進事業」について、「産・官」のみならず「学」とも連携し、大学等と連携して得意分野産業（例：情報工学、食品化学）の創出を図り、国内大企業が首都圏や海外で持っている機能のニアショア化を圏域内に誘致する、といった取り組みができないか。	「学」との連携については、連携事業の実施状況も踏まえ、今後の取組を検討する中で参考とさせていただきます。	D
11	(1)	「子育て支援に関する情報発信の強化」について、子供が複数いる圏域内の世帯に協力してもらい、子供がたくさんいることのメリットや実際の家計運用状況などをSNS等を通じて発信してもらおうのを技術面や補助金等で支援する、といった取り組みができないか。	子育て支援につきましては、現在連携に向けて検討中の事業もあることから、今後の取組を検討する中で参考とさせていただきます。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
12	(1)	基本方針3に関して、平成30年は明治維新150周年。それをきっかけ、テーマとして4市の明治維新関連施設や各地の自然などを巡る講座や体験イベントなどを開催してはどうか。対象は一般市民でも良いし、夏休みを使って子供たちを対象としても良い。4市を巡ることで互いの理解を深め、交流人口の増にもつながると思う。	観光の推進につきましては、各市イベント等において連携して取り組むこととしておりますが、いただいたご意見については、連携事業の実施状況も踏まえ、今後の取組を検討する中で参考とさせていただきます。	D
13	(1)	鹿児島の魅力を、観光に来ていただいた外国の方々に発信していただくようにするため、鹿児島市（日置、いちき串木野、始良も含めて）全域、どこでもWi-Fiを使用できるようにする。	鹿児島市においては、主要な観光施設等にWi-Fiを設置しているところですが、いただいたご意見につきましては参考とさせていただきます。	D
14	(2)	よい取り組みだと思うので、この4市だけではなく、もっと連携する都市を広げたらよいのではないかと。	連携する都市は、原則として経済的な結びつきが強い通勤通学割合が10%以上の市町村との連携を検討することが望ましいとされていることなどから、本市と近接し密接なつながりのある、日置市、いちき串木野市、始良市の3市と取組を進めることとしたところです。圏域のあり方については、今後、4市の連携事業を進める中で効果等を検証しながら、検討してまいります。	D
15	(2)	他の3市と比べ、鹿児島市の受けるメリットが少ないように感じる。鹿児島とその他3市の市民にそれぞれどのようなメリットがあるのか、分かりやすく示していただきたい。	鹿児島市にとっては経済的な結びつきが強い3市と連携して取組を進めることにより、一定の圏域人口が維持されるとともに、中心市街地の活性化や地域経済の振興などのメリットがあるものと考えております。連携中枢都市圏の取組については、メリット等も含め、今後、市民への効果的な広報等に努めてまいりたいと考えております。	D
16	(2)	企業立地や子育て支援など、特定の事業に集中的に注力しつつ、事業の見直し、絞り込みを行い、効果の増大を図ってもよいのではないかと。	企業立地や子育て支援に関する連携事業についても実施予定としておりますが、事業の見直し等については、効果を検証のうえ検討してまいります。	D
17	(3)	鹿児島は、桜島や錦江湾など大自然と共存して暮らしています。このことを強調すべく、バスやタクシーを全て低公害車にして、（トヨタなど自動車会社と協力して）市内を走らせます。マリンプォートの近くに鹿児島の特産品を食べたり、買える場所が無いので、その低公害車のタクシーなどを利用してもらい、市内観光や買い物をしてもらう。	鹿児島市では、鹿児島市環境対応車導入指針に基づき、市営バス等に環境対応車を率先して導入しておりますが、いただいたご意見につきましては、今後の取組を検討する中で参考とさせていただきます。	D
18	(3)	鹿児島は賃金（収入）の割に、物価が高い県だと思えます。未来への投資とムダの削除をしっかりと見極めて、世界一住みやすい都市を目指しましょう。市長、僕の大好きな鹿児島を世界一住みやすい都市へ導いてください。よろしくお願ひします。	圏域全体において住みやすいまちとなるよう、今後の取組を検討する中で参考とさせていただきます。	D
19	(1)	本圏域には106病院（一般病院）、657診療所（一般診療所）があり、そのうち84病院・530診療所が鹿児島市にあり、およそ8割の医療機関が鹿児島市に集中しています。県内・圏域内における主要な拠点病院の多くが鹿児島市に立地しており、鹿児島市は高度医療提供の中心となっておりますが、今回の圏域には、鹿児島保健医療圏と始良・伊佐保健医療圏からは始良市だけが混在している中で、始良市とはどのような連携を検討しているのでしょうか。	始良市は、鹿児島県保健医療計画において始良・伊佐保健医療圏に属しており、鹿児島市立病院は、救急医療における第三次救急医療機関とされているところです。現時点においては、具体的取組として、鹿児島市立病院の医療体制の充実を図ることを鹿児島市において取り組んでいくこととしております。	E
20	(1)	圏域内の中核的医療機関である鹿児島市立病院の医療体制の充実を図り、安心安全な質の高い医療を提供することのことですが、鹿児島市としては、災害時における他市との連携や相互応援の実施として、具体的にどのようなことに取り組んでいくのでしょうか。	災害時においては、各市が締結している県内市町村間の災害時相互応援協定に基づき、災害時の応援要請により、食料や飲料水、被災者の救助・医療等に必要な物資の提供や救護や応急措置に必要な医療職や技術職等の職員の派遣などを行うこととしております。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
21	(3)	火山灰が大量に降った後、ロードスイーパーで灰を清掃していただいています が、ロードスイーパーが通った後は、灰が巻き上がっています。灰を除去する精 度を上げて欲しいです。	鹿児島市では、道路降灰除去作業はロードスイーパーでの清掃に続いて、散水車で散 水し、灰が舞い上がらないよう対応していますが、一部、灰が残り乾燥して舞い上 がる状況があることは確認しております。今後とも灰の取り残し等が生じないよう、引 き続き清掃の精度向上に努めてまいります。	E
22	(3)	私は離島に住んでいたこともありますが、島も住んでみればそれなりにいいとこ ろです。しかし、帰ってくるとやっぱり鹿児島市が便利でいいと思いました。野 球観戦が好きなので、ドーム球場大賛成です。ぜひ、鹿児島市や圏域のみなさん も知事に協力して実現してください。	圏域内にドーム球場が整備されれば圏域全体の活性化にも資するものと考えます。ご 意見については、県にお伝えします。	E
23	(3)	大災害に備えて、鹿児島は他県にはない活火山と共に暮らしています。灰が降っ ていたら、避難所は窓もドアも簡単には開けることができません。夏暑い中、外 は火山灰が降る中の避難所の光景を、想像してください。避難所になっている 小・中学校の体育館の冷暖房完備、災害で電気が止まっても動くように自家発電 装置の設置（避難所になっている地域福祉館や福祉施設も含めて）を早急に検討 してください。	連携事業として実施可能かも含め、ご意見として承ります。	E